

授業科目名： 英語学概論Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 古庄 信 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 英語学		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 英語史をとおして英語の発達や変化を古英語～中英語～初期近代英語などの英語の転換期を観察しつつ、なぜ現代英語が今日のような形態になったかを把握する。また英語学の諸分野についても概観し、文法、発音、英語の文化背景などについて理解を得る。			
授業の概要 受講生各自がテキストを購読し、内容についてまとめのレポートを作成する。 1)OE～ME, 2)ME～EModE, 3)EModE～LModE, 4)PEと英語圏, 5)英語学の諸分野の5項目について、斧の600字以内で合計3,000字以内にまとめ担当者にWord形式で提出する。(PDFは不可)			
授業計画 第1回 英語学の黎明期 第2回 英語前史（古代ローマとアングロサクソン） 第3回 アングロサクソン人とOE 第4回 OEの言語構造1 第5回OEの言語構造2 第6回 OEからMEへの変化 第7回 MEの言語的特徴 第8回 MEからEModEへの変化 第9回EModE（シェイクスピアと欽定訳聖書, 発音の変化：GVS） 第10回 英語圏の拡大 第11回 LModEとさらなる英語圏の拡大 第12回（イギリス英語とアメリカ英語、その他の国々の英語） 第13回 現代イギリス英語 第14回 英語学の先駆者たち～英語学の諸分野 第15回 英語辞書と教職をめざす学生へのアドヴァイス			
スクーリングでの学修			
テキスト 古庄信 (2021年)『英語学ハンドブック』（改訂版）株式会社コーエー			
参考書・参考資料等 朝尾幸次郎 (2019)『英語の歴史から考える英文法の「なぜ」』大修館書店978-4-469-24623-0			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			